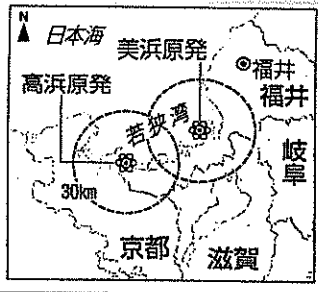


原発コロナ禍住民避難訓練

実施2割の4市町

安全、感染対策両立に苦慮

県内40年超30⁺圏



運転開始から四十年を超えた関西電力美浜原発3号機（美浜町）と高浜原発1、2号機（高浜町）の三十⁺圏にある福井、岐阜、滋賀、京都の四府県十九市町のうち、新型コロナウイルス禍の中で原子力災害を想定した住民参加の避難訓練をしたのは約二割の四市町にすぎないことが二十

19自治体の回答	住民対象の避難訓練	コロナ禍を想定した避難計画見直し
美浜町を中心とする30 ⁺ 圏の市町		
美浜町	×	○
敦賀市	△	○
若狭町	△	○
小浜市	△	○
南越前町	△	○
越前市	△	○
越前町	△	○
長浜市	△	△
高島市	△	△
揖斐川町	○	○
高浜町を中心とする30 ⁺ 圏の市町		
美浜原発と重複する小浜市、若狭町、高島市を除く		
高浜町	○	○
おおい町	○	○
舞鶴市	○	△
綾部市	×	△
南丹市	×	×
京丹波町	△	×
福知山市	×	△
宮津市	×	△
伊根町	×	×

○ … 実施した
 × … 実施していない
 △ … 予定している

○ … 見直した
 × … 見直していない
 △ … 検討中

日、共同通信のアンケートで分かった。自治体に策定が義務付けられている原子力災害時の「避難計画」を、新型コロナウイルスに伴い見直したのは約半数の十市町だった。

美浜3号機の再稼働が二十三日に迫る中、関係自治体が事故時の安全対策と感染対策の両立に苦慮する現状が浮き彫りとなった。専門家からは「迅速に新型コロナウイルス禍に対応する必要がある」との声が上がっている。

「住民対象の訓練をした」としたのは、おおい、高浜両町、岐阜県揖斐川町、京都府舞鶴市の四市町のみ。美浜町を含む十五市

町は未実施だった。京都府宮津市は、昨年の府防災訓練を挙げて「訓練した」と答えたが、職員が住民役をしたため未実施とした。市担当者は「本来は住民が参加すべきだが、感染が拡大しては元も子もない」と説明している。

未実施だが今後予定している自治体は敦賀市など九市町。住民参加訓練をした四市町の担当者によると、避難所の設置には、従来より多くの人員や時間が必要なことなどが明確になったという。また保健師らが平時

から新型コロナウイルス対応に追われており、避難者の体調管理に必要な人数を確保できるかどうかを懸念する声もあった。

避難計画を見直したのは美浜、高浜両町など十市町。見直していない他の九市町のうち六市は「検討中」としている。

美浜3号機の再稼働が二十三日に迫る中、関係自治体が事故時の安全対策と感染対策の両立に苦慮する現状が浮き彫りとなった。専門家からは「迅速に新型コロナウイルス禍に対応する必要がある」との声が上がっている。

「住民対象の訓練をした」としたのは、おおい、高浜両町、岐阜県揖斐川町、京都府舞鶴市の四市町のみ。美浜町を含む十五市

町は未実施だった。京都府宮津市は、昨年の府防災訓練を挙げて「訓練した」と答えたが、職員が住民役をしたため未実施とした。市担当者は「本来は住民が参加すべきだが、感染が拡大しては元も子もない」と説明している。

未実施だが今後予定している自治体は敦賀市など九市町。住民参加訓練をした四市町の担当者によると、避難所の設置には、従来より多くの人員や時間が必要なことなどが明確になったという。また保健師らが平時